

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域振興事業 (ひだ荘川ふるさと祭り開催事業)	会計	1	一般	特別 予算 の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光施設を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別	1		款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業課		項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		H26計画額	3,300 千円			
	内線	3341	目	1	観光振興費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント来場者・荘川町民	どうしたいのか(意図)	・地域住民が参加しイベントを行い観光客の交流人口の増大を図る ・地場産業の活性化を図る ・次世代に受け継がれる郷土芸能の保存	概要	事業の実施手法(手段)	・30頭の連獅子、荘川民謡や郷土芸能の披露と招待獅子の披露 ・郷土料理や特産品の販売
	対象者数	6,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年10月14日(日)イベント開催 町内の各神社で受け継がれている獅子舞の披露と各神社から集められた獅子30頭による日本一の連獅子の披露 荘川民謡や郷土芸能の披露 招待芸能の披露 荘川特産品や郷土料理の販売 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	ふるさと祭りチラシ新聞折り込み枚数	枚	目標値	131,310	130,960	130,960	64,000
				実績(見込)	131,310	130,960	64,000	
	算出根拠等		配布件数	達成率(%)	100	100	49	
	活動指標	ふるさと祭り運営会議開催	回	目標値	9	9	9	11
				実績(見込)	9	9	9	
	算出根拠等		開催回数	達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	ふるさと祭り来場者数	人	目標値	5,500	5,500	5,500	6,500
				実績(見込)	5,000	6,000	5,500	
	算出根拠等		来場者数	達成率(%)	91	109	100	
	成果指標	荘川地域10月の観光客入込客数	人	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000
				実績(見込)	62,885	51,718	50,000	
算出根拠等		観光客入込調査	達成率(%)	105	86	83		
成果指標	イベント出店者売り上げ額	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,000	
			実績(見込)	2,429	2,391	2,000		
算出根拠等		売上額	達成率(%)	97	96	80		
成果指標	荘川町民参加率	%	目標値	25	25	25	43	
			実績(見込)	25	26	25		
算出根拠等		荘川町民参加者(332人)/10月荘川町人口(1,252人)	達成率(%)	100	104	100		
補足	紅葉の時期に合わせて行うイベントで、毎年多くの来場者で賑わう。今回で25回目を迎え、毎年地域住民が丸丸となって取り組んで続けている。また、各神社の獅子舞や荘川民謡など荘川地域の伝統芸能がふるさと祭りを通して、受け継がれている。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・イベント実行委員会が主体となって行い、地域で自主的に運営できるようイベントの見直しを行い、事業の継続を目指す。 ・荘川町全体が参加し開催しているが、特にイベントの目玉「30頭の連獅子」は、参加する地域住民の高齢化が進み後継者不足が懸念されている。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・今後のイベントの方向性を決定しなければならない。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・地域における伝統芸能の保存、継承また、交流人口の増加による地域振興を図るため重要な事業である。 ・特例期間終了となるため、自己財源の確保に努め事業継続に向けての話し合いを行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。
	縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,946	4,999	4,500	4,200
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	989	833	818	646
	受益者	イベント来場者数	(B)	5,000	6,000	5,500	6,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	イベント実行委員会実施事業 住民参加によるイベントで、30頭の連獅子や民謡などの郷土芸能の披露と、郷土料理や地域特産品の販売を行う。また、3年に一度行われる総勢100人の大行列「ひねり踊り」を一年延期し、今年度合併10周年を記念し行う。	要求のポイント	イベントに必要な経費の計上 ・会場設営及びイベント運営経費	事業実施の課題	支所 ・自己財源の確保 ・高齢化が進み、後継者不足による今後の対応が必要	観光課 ・平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課 同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,500	4,200	△ 300	4,200	4,200	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,500	4,200	△ 300	4,200	4,200		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199 2	地域観光振興事業 (ひだ庄川清流あまご・やまめ釣り大会)	会計	1 一般	特別 予算の 位置 付け	○ A 合併前から実施されているイベント・行事 B 一般予算の上乗せとして実施されている事業 C 終期を定めて実施する事業・単年度事業 D その他事業	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光施設を新たな観光資源として積極的に活用します。
担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	2 観光費	目	1 観光振興費		H26計画額	300 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) イベント参加者	どうしたいのか(意図)	・荘川地域に数多くの釣りファンを招き、自然と清流の釣りのメッカとしての地位を確立する。 ・釣りのみならず、他のイベントや各観光施設に訪れる機会を創出する事で交流人口の増加と地域振興が図られる。	概要	事業の実施手法(手段)	・年に1～2回の釣り大会を開催する。 ・大会前日は、旅館組合に加入している宿泊施設に宿泊し、宿泊代と参加費をセットにし参加者を募集する。
対象者数	139 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	平成24年5月27日(日)と平成24年9月9日(日)の2回開催							
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
成果 指 標	活動指標	あまご・やまめ釣り大会開催回数	回	目標値	2	2	2	1
		実績(見込)		1	2	2		
	算出根拠等	大会開催回数	達成率(%)	50	100	100		
	活動指標	遊漁証交付件数	人	目標値	5,569	4,825	5,000	5,000
		実績(見込)		4,661	5,501	5,300		
	算出根拠等	交付件数	達成率(%)	84	114	106		
	成果指標	あまご・やまめ釣り大会参加者	人	目標値	140	140	100	70
		実績(見込)		65	139	126		
	算出根拠等	参加者数	達成率(%)	46	99	126		
	成果指標	荘川町宿泊者数(1月～12月)	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
		実績(見込)		49,327	53,064	50,000		
	算出根拠等	宿泊者数	達成率(%)	99	106	100		
成果指標	イベント時宿泊売上推計	千円	目標値	1,260	1,050	525	525	
	実績(見込)		488	1,043	945			
算出根拠等	参加者数×宿泊料金(7,500円)	達成率(%)	39	99	180			
成果指標	イベント時宿泊者数	人	目標値	140	140	140	70	
	実績(見込)		65	139	126			
算出根拠等	イベント宿泊者数	達成率(%)	46	99	90			
補足	昭和55年から開催されているイベントで、多くの釣りがリピーターとなり毎年参加している。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	毎年多くのリピーターが訪れるが、新たな参加者が少ないためより多くの人に参加してもらいやすくなり組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・自己財源の確保に努め、自立した事業実施を指導する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・事業内容の見直しを行う。 ・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	二次評価	
○ 縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	397	499	300	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,108	3,590	3,000	2,143
	受益者	(B)	65	139	100	70

5 予算編成(Action2)

事業内容	イベント実行委員会実施事業 庄川で参加者を募集して宿泊型の釣り大会を実施する。	要求のポイント	釣り大会に必要な経費の計上 ・募集広告チラシの作成費 ・釣り大会開催経費	事業実施の課題	支 要 ・自己財源の確保に努め、自立して事業が実施できるよう指導が必要	観光課 地域政策課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
							同上

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	300	150	△ 150	150	150	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	300	150	△ 150	150	150		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199 3	地域観光振興事業 (ひだ荘川ふるさと夏まつり開催事業)	会計	1	一般	特別 予算 の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
種別	3		款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	荘川支所 基盤産業課		項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業						
内線	3341		目	1	観光振興費		D	その他事業						
										H26計画額	1,500 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全トヨタ労働組合連合会組合員・荘川町民	どうしたいのか (意図)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して飛騨荘川ふるさと村づくりの取り組みや、組合員のふるさととして、多くの方に季節を問わず荘川へ訪れていただき、町民との交流による地域の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して夏に1泊2日の宿泊型イベントを開催 (荘川地域の民謡による盆踊り会・花火打ち上げ・星空観察会・魚つかみ・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー)
対象者数	326,000 人						

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	平成24年7月28日(土)～29日(日) 1泊2日のイベントの開催 荘川地域の民謡による盆踊り会・花火打ち上げ・星空観察会 魚つかみ・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー・じゃがいも収穫体験							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指 標	イベント時パンフレット配布組数	組	目標値	75	130	130	150
				実績(見込)	75	130	150	
	算出根拠等	配布数		達成率(%)	100	100	115	
	成果 指 標	荘川町宿泊者数(1月～12月)	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績(見込)	49,327	53,064	50,000	
	算出根拠等	宿泊者数		達成率(%)	99	106	100	
	成果 指 標	組合員ふるさと村役場来村者数	人	目標値	6,400	6,400	6,400	6,500
				実績(見込)	6,400	6,500	6,500	
	算出根拠等	来村者数		達成率(%)	100	102	102	
成果 指 標	ふるさと夏まつり参加者数	人	目標値	650	650	650	700	
			実績(見込)	568	800	775		
算出根拠等	参加者数		達成率(%)	87	123	119		
成果 指 標	宿泊者数(イベント期間中)	人	目標値	450	550	550	600	
			実績(見込)	360	550	625		
算出根拠等	宿泊者数		達成率(%)	80	100	114		
補 足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
全トヨタ労連に加入している各労働組合が、定期的荘川町で研修会やイベントを開催するため、宿泊施設や各商店など地域の活性化につながっている。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・全国規模の全トヨタ労連の影響は大きく、毎年安定した集客数が見込まれる。今後は、より多くの組合員が訪れるよう地域の宣伝活動が必要である。 ・組合員と荘川町民の交流の場が少ないため、地域住民との交流の場が増えるような内容を検討する。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・全トヨタ労連と連携を取り、組合員に荘川地域の宣伝活動を行う。 ・組合員と荘川町民が交流できるような場を検討する。 ・企画内容の見直しが必要である。		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	全トヨタ労連との連携により継続する。
	二 次 評 価	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、イベントのあり方について検討する必要がある。
	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討		
	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	2,689	2,999	2,900	2,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,734	3,749	4,462	2,857
	受益者	イベント参加者	(B)	568	800	650	700

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	イベント実行委員会実施事業 全トヨタ労働組合連合会と連携し、飛騨荘川ふるさと村づくりに取り組み、20年が経過した。全国各地の組合員を対象に1泊2日の滞在型のイベントを実施する。	要 求 の ポ イ ン ト	イベント開催に係る経費の計上 ・会場準備委託料 ・花火打ち上げ委託料 他	事業 実 施 の 課 題	支 所	全トヨタ労働組合連合会に所属する組合員とその家族が、荘川を「第二のふるさと」として、一年を通して何度も訪れてもらえるような地域づくりとPR活動が必要である。	観 光 課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。	地 域 政 策 課	同上
--------------	---	---------------------------------	--	-----------------------------	--------	--	-------------	--	-----------------------	----

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,900	2,000	△ 900	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,900	2,000	△ 900	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199 4	地域観光振興事業 (ひだ荘川ふるさと雪まつり)	会計	1	一般	特別 予算 の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
種別	4		款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	荘川支所 基盤産業課		項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業						
内線	3341		目	1	観光振興費		D	その他事業						
										H26計画額	500 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全トヨタ労働組合連合会組合員・荘川町民	どうしたいのか (意図)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して飛騨荘川ふるさと村づくりの取り組みや、組合員のふる里として多くの方に季節を問わず荘川へ訪れていただき、町民との交流による地域の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・全トヨタ労働組合連合会と連携して冬に1泊2日の宿泊型イベントを開催 (雪遊び・雪像作り・昔ながらの臼と杵での餅つき・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー・星空観察)
対象者数		326,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	平成25年2月16日(土) 1泊2日のイベントの開催 雪遊び・雪像作り・昔ながらの臼と杵での餅つき・地元の食材や郷土料理によるバーベキュー・星空観察							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指 標	イベント時パンフレット配布枚数	組	目標値	34	40	40	30
				実績(見込)	34	30	30	
				算出根拠等	配布数	達成率(%)	100	75
	成果 指 標	荘川町宿泊者数(1月～12月)	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績(見込)	49,327	53,064	50,000	
				算出根拠等	宿泊者数	達成率(%)	99	106
	成果 指 標	組合員ふるさと村役場来村者数	人	目標値	6,400	6,400	6,400	6,500
				実績(見込)	6,400	6,500	6,500	
				算出根拠等	来村者数	達成率(%)	100	102
	成果 指 標	ふるさと雪まつり参加者数	人	目標値	250	270	270	260
				実績(見込)	270	260	260	
				算出根拠等	参加者数	達成率(%)	108	96
	成果 指 標	宿泊者数(イベント期間中)	人	目標値	150	150	150	150
実績(見込)				150	160	150		
算出根拠等				宿泊者数	達成率(%)	100	107	100
補 足	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
全トヨタ労連に加入している各単組組合が、定期的な荘川町で研修会やイベントを開催するため、宿泊施設や各商店など地域の活性化につながっている。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・全国規模の全トヨタ労連の提供は大きく、毎年安定した集客数が見込まれる。今後は、より多くの組合員が訪れるよう地域の宣伝活動が必要である。 ・組合員と荘川町民の交流の場が少ないため、地域住民との交流の場が増えるような内容を検討する。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・全トヨタ労連と連携を取り、組合員に荘川地域の宣伝活動を行う。 ・組合員と荘川町民が交流できるような場を検討する。 ・企画内容の見直しが必要である。		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	全トヨタ労連との連携により継続する。
	二 次 評 価	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	
	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、イベントのあり方について検討する必要がある。	
	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,311	1,001	750	
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,856	3,850	3,704	2,885
	受益者	イベント参加者	(B)	270	260	270	260

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	イベント実行委員会実施事業 全トヨタ労働組合連合会と連携し、飛騨荘川ふるさと村づくりに取り組み、20年が経過した。全国各地の組合員を対象に1泊2日の滞在型のイベントを実施する。	要 求 の ポ イ ン ト	イベント開催に係る経費の計上 ・会場準備等委託料 ・雪像コンテスト景品 他	支 所	全トヨタ労働組合連合会に所属する組合員とその家族が、荘川を「第二のふるさと」として、一年を通して何度も訪れてもらえるような地域づくりとPR活動が必要である。	観 光 課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	750	△ 250	750	750	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	750	△ 250	750	750		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	地域自然環境保全事業費 (ササユリ群生地保護活動助成事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。 ・環境保全に取り組みます。
	款			2	総務費		○	B					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線	予算	項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	130 千円			
				目	18	環境政策費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町惣則地区住民	どうしたいのか(意図)	・全国的にも年々減少傾向にある「ササユリ」の保護及び育成。 ・景観重点区域の保全のため、電牧柵の設置、雑木撤去、草刈、群生地域の監視など地域が丸となって活動実施 ・ササユリの保護及び育成を通して、惣則地域の景観保全や、地域住民の協調性を再確認し、自然と共存するやましまちづくりを目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	・電牧柵の設置及び撤去 ・地域内の雑木除去及び草刈り ・地域内の監視及び手入れ
	対象者数	63 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> 電牧柵の設置及び撤去、雑木除去や草刈などの清掃管理など、地域が丸となって保護活動を実施 集落の魅力を体感し、楽しんでいただくきっかけづくりのための「ささゆり群生地周辺マップ」を作成 開花時期に訪れる観光客にマップの配布等、積極的に案内を行っている。 ササユリ保護・育成活動を通じ、農山村景観の保全の大切さを再認識し、地域住民が一体となって取り組んでいる。 						
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	清掃・草刈活動(4月から9月:毎月)	回	目標値	6	6	6	6
		実績(見込)	6	6	6			
	算出根拠等	実施回数	達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	電牧柵設置・撤去等	回	目標値	2	2	2	2
		実績(見込)	2	2	2			
	算出根拠等	実施回数	達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	ササユリの開花数	本	目標値	10,000	10,200	10,300	10,300
		実績(見込)	10,000	10,000	10,000			
	算出根拠等	開花数	達成率(%)	100	98	97		
成果指標	観光客数	人	目標値	900	1,000	1,100	1,100	
	実績(見込)	900	600	800				
算出根拠等	観光客数	達成率(%)	100	60	73			
算出根拠等		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
補足	<ul style="list-style-type: none"> 惣則地区は限界集落であり、地域の誇りとしての「景観形成」(景観重点区域)や「宝」であるササユリを懸命に守っている。 ササユリの開花時期には、訪れる方々に対し観光案内を行っている。 							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・ササユリ保護・育成のため、惣則地域が地域ぐるみで活動を行っているが、地域の高齢化率が高く、後継者の育成が大きな課題となっている。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・地域の魅力を体感していただくために作成した散策マップにより、観光客が農山村を楽しんでもらうためのきっかけとなるよう周知する。 ・景観重点区域であり、ササユリを通じて農山村景観の保全活動を行っているが、後継者不足が問題となっており活動のあり方を検討する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大	・電牧柵の設置や草刈を継続し、ササユリを保護・育成する。 ・景観重点区域の美しい農山村景観を守っていくため、ササユリの保護や育成を通じ、地域住民の意識向上を図る。 ・多くの方に農山村景観を体感いただけるようPRを行う。
	○維持・改善 縮小 廃止検討	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の支援のあり方を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	130	130	130
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,940	1,940	2,063
	受益者	(B)	67	67	63

5 予算編成(Action2)

事業内容	・荘川地区の花である「ササユリ」の群生地を保護、保全する。特にイノシシ被害から守るため、電牧柵を周辺に張り巡らし、秋には「カリヤス」を刈り取り、区域内の整備を行う。	要求のポイント	・「ササユリ」の保護育成活動に対する助成	事業実施の課題	・ササユリ保護・育成のため、惣則地域が地域ぐるみで活動を行っているが、地域の高齢化率が高く後継者の育成が大きな課題となっている。	環境政策推進課 地域政策課	<p>平成26年度中に、今後は地域活動の一環としての自主的な取り組みに移行できるよう働きかける必要がある。</p> <p>平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。</p>
------	--	---------	----------------------	---------	--	------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		130	130	0	130	130		
財源内訳	国庫支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	130	130	0	130	130		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
種別				款	3	民生費		○	B				
担当課	荘川支所 地域振興課		内線	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円		
			3322	目	3	老人福祉費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000
				実績(見込)	9,796	9,584	9,677	
				算出根拠等	目標会員数/会員数の実績		達成率(%)	93
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	138
				実績(見込)	143	139	138	
				算出根拠等	目標クラブ数/クラブ数の実績		達成率(%)	95
	成果指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	38	40
				実績(見込)	39	38	37	
				算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口		達成率(%)	91
	活動指標	荘川地区連合長寿会会員数	人	目標値	250	250	250	250
				実績(見込)	223	227	230	
				算出根拠等	目標会員数/会員数の実績		達成率(%)	89
	活動指標	荘川地区連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	4	4	4	4
実績(見込)				4	4	4		
算出根拠等				目標クラブ数/クラブ数の実績		達成率(%)	100	100
成果指標	荘川地区連合長寿会加入率	%	目標値	50	50	50	50	
			実績(見込)	48	49	50		
			算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口		達成率(%)	96	97
補足	高山地域全体の加入率に加え、荘川地区の加入率等も成果指標とした。							

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。 ・荘川地域においては、自然体験活動の指導者になっていただくなど、仲間づくりや生きがいづくりにつながるよう取り組みを行う。		
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	二次評価	○ 維持・改善 □ 拡大 △ 縮小 × 廃止検討	
	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,883	1,850	1,826
	受益者	荘川地区会員数(4月1日現在)	(B)	223	227

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢者社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	・地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	・地域を基盤とした老人クラブの展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。	高年介護課 地域政策課	・平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---	---------	----------------	---------	--	----------------	-----------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420		
財源内訳	国庫支出金			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (荘川桜観光対策事業)	予算	会計	1	一般	特別 予算 の 位置 付け	<input type="checkbox"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
種別				款	6	商工費		<input type="checkbox"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 基盤産業課	内線	2	観光費	<input type="checkbox"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		H26計画額	2,000 千円				
		3341	目	1	観光振興費	<input type="checkbox"/> D				その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川桜来客数	どうしたいのか(意図)	樹齢500年以上の荘川桜が開花する4月下旬から5月上旬は多くの観光客が荘川を訪れる。岐阜県の三大桜として有名な荘川桜を観光資源とし活用し誘客を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・交通案内看板の設置 ・荘川桜公園駐車場の交通警備委託 ・駐車場環境整備(仮設トイレの設置)
	対象者数	33,075 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	平成24年4月28日～5月13日まで実施 ・交通案内看板の設置と荘川桜案内ガイド委託 ・荘川桜公園駐車場の交通警備委託 ・駐車場環境整備(仮設トイレの設置)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	荘川桜開花時交通警備業務日数	日	目標値	16	16	17	12
		実績(見込)	16	16	12			
	算出根拠等	交通警備業務日数		達成率(%)	100	100	71	
		荘川桜来客数	人	目標値	30,000	50,000	50,000	40,000
	成果指標	実績(見込)	28,559	38,759	33,075			
		算出根拠等	来客数	達成率(%)	95	78	66	
	成果指標	荘川町内4・5月の観光客入込数	人	目標値	120,000	200,000	200,000	110,000
		実績(見込)	100,395	109,938	101,562			
	算出根拠等	観光客入込客数		達成率(%)	84	55	51	
		荘川桜二世苗木配布本数(延べ)	本	目標値		3,200	3,300	3,600
	成果指標	実績(見込)	3,176	3,390	3,400			
算出根拠等		配布本数	達成率(%)		106	103		
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	荘川桜二世を育て、希望者に配布し桜の移植物語を全国に発信している。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・荘川桜がきれいに開花するのが二年に一度のペースである事から、開花に合わせた対応が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・今年度は、桜の花が少ない年に当たるため、警備員の配置や桜まつりの時期などを精査し対応する。		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・1年を通しての誘客についての検討が必要である。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、事業のあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,847	1,821	2,000	1,940
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	100	47	40	49
	受益者	荘川桜来客数(4月末から5月上旬)	(B)	28,559	38,759	50,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川桜開花により観光客が増加するため、駐車場の環境整備を行う。	要求のポイント	・荘川桜駐車場観光整備に係る経費 ・荘川桜駐車場で警備員配置 ・仮設トイレの設置 ・荘川桜までの案内看板の設置	事業実施の課題	支所 桜の開花時期は、多くの観光客が訪れる。町内の特産品や、その他観光施設をPRできる良い機会のため、荘川桜公園の利用の見直しが必要である。	観光課 地域政策課	・荘川桜を訪れる観光客に地域を周遊させる取り組みが必要である。 ・平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---------------------------------	---------	--	---------	---	--------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,000	1,940	△ 60	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	2,000	1,940	△ 60	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	会計	1	一般会計	特別 予算 の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	種別			7	土木費		○	B			
担当課	荘川支所 基盤産業課		内線 3331	予算	2	道路橋りょう費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	4,000 千円	
	目	1			道路橋りょう総務費	D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたい のか (意図)	・未登記路線を整理し、市道の適切な管理を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	1,223 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・市道平頭町屋線の一部 (面積測量: 1713㎡ 分筆登記済数: 1筆)								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指標	対象路線数		本	目標値	1	1	3	6
		実績(見込)			1	1	3		
		算出根拠等 目標路線数/実施路線数			達成率(%)	100	100	100	
	成果 指標	面積測量		㎡	目標値	35,963	2,537	67,368	2,650
		実績(見込)			20,654	1,713	67,368		
		算出根拠等 目標面積/実施面積			達成率(%)	57	68	100	
	成果 指標	登記済筆数		筆	目標値	2	13	34	20
		実績(見込)			2	1	34		
		算出根拠等 目標登記筆数/実施登記筆数			達成率(%)	100	8	100	
	補 足	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						
補 足	算出根拠等			目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					

・未登記路線(15路線)の現状は、登記完了7路線、相続関係を残し一部完了3路線、進行中3路線、未着手は2路線である。進行中の平頭町屋線はH23年度からの3ヶ年である。H25年度は野々俣1号線及び野々俣7号線をH26年度は野々俣6号線及び野々俣10号線を実施する。

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・過去の経緯が不明なため、市道用地の寄付だけでは理解していただけないケースもあるが、概ね高山市への所有権移転については理解と協力を得られた。しかし、字絵図に不接合の箇所がある場合は、民境界の確定に個々の主張があり時間を必要とする。さらに、未相続の土地や共有地の場合もあり、相続、分筆登記、所有権移転に時間を必要とする。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・計画に基づき実施しているが、早期完了を目指し前倒しを検討する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・平成26年度までに未登記路線を完了できるよう積極的に取り組む。
	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,950	4,186	7,000	2,207
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,069	3,286	5,724	1,805
	受益者	荘川地域住民(H25.4.1現在)	(B)	1,287	1,274	1,223

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・市道未登記用地の調査、測量、登記	要 求 の ポ イ ン ト	支 所	事業 実 施 の 課 題	・公図に不接合のある場合は、民境界の確定に時間を要する。 未相続の土地は複数の法定相続人の存在と相続人が市外に居住している事などから相続登記等が困難となり時間を要する。	維 持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解決を進める必要がある。
							地 域 政 策 課

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,000	2,207	△ 4,793	4,000	4,000	・事業推進に必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,000	2,207	△ 4,793	4,000	4,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	・個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	種別			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3312	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,200 千円			
				目	1	社会教育総務費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか(意図)	・高山市民憲章の具現化に努め、明るい環境づくりを推進する。 ・花を育てることで広がる地域内のコミュニケーションづくりを推進する。 ・環境整備とコミュニケーションづくりを継続していき、住みよい地域をつくる。	概要	事業の実施手法(手段)	道路沿線及び地域花壇(1,391.4㎡)の花苗、肥料等の購入、植栽及び花壇の管理委託 ○花苗の購入: マリーゴールド20,460本、ハンジュー13,596本 肥料の購入、腐葉土、発酵鶏糞、化成肥料等 ○消耗品の購入: 黒マルチ ○管理: 土づくり、定植、維持管理	○
対象者数		1,223 人						

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	道路沿線及び地域花壇(1,391.4㎡)の花苗、肥料等の購入、植栽及び花壇の管理委託(他地域との公平性を考慮し、町内会へ花壇管理業務の委託料の段階的な縮小開始)							
成果 指標	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		肥料・花苗配布箇所	件	目標値	17	16	16	16
	算出根拠等	配布先(町内会)件数の達成率		実績(見込)	17	16	16	
	達成率(%)	100	100	100				
	活動指標	花苗配布本数	本	目標値	38,000	35,546	34,056	28,360
	算出根拠等	花苗配布本数の達成率		実績(見込)	37,296	35,546	34,056	
	達成率(%)	98	100	100				
	成果指標	管理委託花壇面積	㎡	目標値	1,598	1,523	1,391	1,217
	算出根拠等	花壇面積調査(支所実施)		実績(見込)	1,598	1,391	1,391	
	達成率(%)	100	91	100				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見					

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	「伝統文化を守り、次代へ継承します」 「伝統文化の振興を積極的に支えます」 「心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいが、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化の活動をさらに浸透させ広げていく」
	種別			9	教育費		○	B					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線	予算	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,100	千円		
				6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたいのか(意図)	芸術文化に触れる機会の充実と地域に根ざした文化振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	地域が主体となって取り組む文化振興事業に対する助成 ・文化講演会、文化祭(文化展)の開催
	対象者数	1,223					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年10月2日(火) 文化講演会開催(講師 渡部 陽一氏) 平成24年11月2, 3日(金、土) 文化展、文化祭 							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	文化講演会チラシ配布枚数	枚	目標値	900	900	900	900
		実績(見込)	900	900	900			
	算出根拠等		配布枚数	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	文化展チラシ配布枚数	枚	目標値	700	700	700	700
		実績(見込)	700	700	700			
	算出根拠等		配布枚数	達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	文化講演会入場者数	人	目標値	220	150	150	150
		実績(見込)	140	270	250			
	算出根拠等		入場者数	達成率(%)	64	180	167	
	成果指標	文化展入場者数	人	目標値	350	350	350	350
		実績(見込)	350	250	300			
算出根拠等		入場者数	達成率(%)	100	71	86		
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・荘川町民の皆さんが直に聞くことのできない著名人による講演会の開催。 ・荘川町民が作った作品の展示等、活動成果を披露する場となっている。 							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住民がもっと参加しやすくなるように講演会や展示会などの内容を見直す必要がある。 ・地域住民がもっと参加しやすい講演会とするために、講師に対する住民のニーズを確認しながら企画することが必要。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化振興事業に対し、住民の意識が薄れていくことのないよう、住民のニーズを常に把握する必要がある。 ・荘川地区社会教育運営委員会と連携を図り、事業を実施する。 ・「飛騨高山文化芸術祭こたまーれ2013」を通し、文化芸術に関心を持ち様々な文化芸術活動に参加いただけるよう周知する。 	
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	文化講演会を開催するにあたり、誰もが文化芸術に関心を持っていたけよう荘川地区社会教育運営委員会と連携を図る。 支所のエントランスや高山市図書館荘川分館での作品展示等、活動や取り組みの成果を見ていただける場を設ける。 荘川地域のまちづくりに繋がる文化講演会の検討や住民が参加しやすい講演会の開催を行う。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	1,100	1,100	1,100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	850	863	899
	受益者	荘川町民(4月1日現在)	(B)	1,294	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化に触れ合う多くの機会を創出することで町民の文化に対する興味や関心を高めると共に、地域固有の文化の発掘や伝承文化の維持発展を図るため、文化振興事業への助成を実施する。 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が主体となって取り組む文化講演会、文化祭(文化展)の開催に対する助成 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住民がもっと参加しやすくなるように講演会や展示会などの内容の検討が必要 	生涯学習課 地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なる。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
						平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。	

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	1,100	1,100	0	1,100	1,100	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,100	1,100	0	1,100	1,100		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	庄川文化財保存振興事業 (庄川民謡保存会助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	「伝統文化を守り、次代へ継承します」 「伝統文化の振興を積極的に支えます」 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいが、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化の活動をさらに浸透させ広げていく
	種別			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	庄川支所 地域振興課	内線	3311	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	45 千円			
				目	7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	庄川民謡保存会会員及び中学生(保存会参加者)	どうしたいのか (意図)	・市無形文化財「庄川民謡」の保存・活動を行っている団体に対して活動助成し、伝統芸能「庄川民謡」の保存や継承を推進することや地域の子どもたちに伝えて後継者を育成する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・小中学校を対象として後継者育成のための学習会開催 ・イベントなどでの庄川民謡披露 ・民謡衣裳等の保存管理
	対象者数	46 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・各種イベント時の民謡披露(庄川ふるさと夏まつり、町民盆踊り会、ふるさと祭り、新成人を祝うついで、芸能祭等) 学校を対象として後継者育成のための指導。							・小中
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	民謡練習回数	回	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)	12	12	12			
	算出根拠等	月1回の練習		達成率(%)	100	100	100	
	活動 指標	中学生を対象とした指導	回	目標値	8	8	8	8
		実績(見込)	4	5	5			
	算出根拠等	中学校への訪問回数		達成率(%)	50	63	63	
	成果 指標	各イベントでの出演回数	回	目標値	6	6	6	6
		実績(見込)	5	5	5			
	算出根拠等	庄川民謡披露回数		達成率(%)	83	83	83	
成果 指標	中学生の保存会参加人数	人	目標値	24	30	26	39	
	実績(見込)	24	30	26				
算出根拠等	中学生参加者数		達成率(%)	100	100	100		
補足				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
・中学生の後継者育成の為、3カ月に1回程度、庄川中学校を訪問し総合学習の一環として指導している。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・郷土芸能を後世に伝え残していくために、中学校を訪問し指導することにより、後継者育成を行った。 ・イベントで庄川民謡を披露することにより、庄川の伝統芸能を知ってもらうことができたが、更なる後継者育成の取り組みが必要である。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・伝統芸能を伝えるため、後継者育成や活動に対する支援を行う。 ・中学校や各種イベントに参加をすることにより、後継者育成や、庄川民謡を披露し更なる保存・継承を行う。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	・今後も伝統芸能を次代に伝えるため、後継者育成や活動の支援を行う。 ・持続的に活動ができるよう団体への支援を行うことにより、伝統芸能を次代に伝えるための後継者育成を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の支援のあり方を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	45	45	45
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,047	1,047	978
	受益者	庄川民謡保存会会員及び中学生(4月1日現在)	(B)	43	43

5 予算編成(Action2)

事業内容	・民謡保存会の会員の高齢化や後継者不足を解消するため、将来の庄川を担っていく子どもたちや若者たち等、幅広い年齢層への継承するための活動を支援する。	要求の ポイント	・小中学校を対象として後継者育成のための学習会開催 イベントでの庄川民謡披露 衣裳等の保存管理	事業 実施 の 課題	支 所	・民謡保存会の会員が高齢化している中で、次世代の庄川を担う子どもたちや若者たちへの幅広い人材を確保するための方法を検討する必要がある。	文化 財 課	・民謡などの地域芸能の伝承、後継者の育成は継続的に行うことが大切である。 今後とも計画的な支援が必要である。
							地域 政 策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		45	45	0	45	45	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	45	45	0	45	45		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱設置事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画、高山市環境基本計画	市長公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を解りやすく紹介するためのパンフレット、説明看板等の整備や、人と人の繋がりを大切に語り部の育成に取り組みます。
種別			款	9	教育費		○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 基盤産業	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	400 千円		
			目	7	文化財費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月～12月)	どうしたいのか(意図)	指定文化財について、広く市民に周知するために標柱を設置する。	概要	事業の実施手法(手段)	過去に設置されているものは木製で老朽化が著しいため、恒久的な石製の標柱に更新する。
	対象者数	393,835 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	文化財標柱を4ヶ所に設置							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	文化財標柱設置本数		本	目標値	4	4	2	2
成果指標	算出根拠等 標柱設置本数			実績(見込)	4	4	2	
	計画に対する標柱の設置状況		%	達成率(%)	100	100	100	
成果面	算出根拠等 標柱設置本数/計画本数			目標値	27	27	16	16
				実績(見込)	6	10	12	
補足	算出根拠等			達成率(%)	22	37	75	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
歴史的に価値のある文化財を後世に引き継ぐため、文化財への理解を高め保全意識の向上を図る。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	石柱設置箇所を精査し、より効果が図られるよう設置場所の検討が必要である。
--------------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	石柱設置箇所を精査し、平成26年度までに事業を完了する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	計画している標柱を、平成26年度までに地域振興特別予算において設置する
	○ 拡大	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A) 748	756	400	420
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 2	2	1	1
	受益者	観光客入込数(1月～12月)	(B) 413,299	393,835	460,000	460,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	腐食した木柱を除去し、腐食することのない石柱を設置	要求のポイント	文化財標柱を2箇所に設置 ①寺河戸のサワラ ②山中峠のミズバショウ群落	事業実施の課題	支所 平成26年度で完了	文化財課	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓発の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に進める必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		400	420	20	400	400	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	400	420	20	400	400		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市スポーツ振興計画、地域振興計画	市長公約	1 「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
	種 別			款	9	教育費		○	B				
担当課	荘川支所	地域振興課	内線	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	150 千円		
				目	1	体育総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたいのか(意図)	・各種スポーツ大会を開催することで、スポーツと触れ合う機会から町民の健全な心と体を鍛えるときにも、一人1スポーツの重要性が認識され、健康で明るい地域づくりを推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・事業主体: 荘川地区社会教育運営委員会 ・開催時期: 随時(年間) ・事業内容: 各種スポーツ大会開催
	対象者数	1,223 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・バレーボール大会、ゲートボール大会、ソフトボール大会、ファミリー駅伝大会、グラウンドゴルフ大会、バドミントン大会、剣道大会、スキー大会の開催							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	スポーツ大会実施回数	回	目標値	8	8	8	8
		実績(見込)	8	8	8			
	算出根拠等	町民大会開催回数		達成率(%)	100	100	100	
	活動 指標	参加者数	人	目標値	460	460	460	460
		実績(見込)	460	479	480			
	算出根拠等	全競技参加者数		達成率(%)	100	104	104	
	成果 指標	平均参加者数	人	目標値	80	80	80	80
		実績(見込)	80	60	70			
	算出根拠等	スポーツ大会参加者数/開催数		達成率(%)	100	75	88	
				目標値				
		実績(見込)						
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・各種スポーツ大会を行うことにより、スポーツと触れ合う機会を充実し、町民の誰もが参加しやすいスポーツ大会を開催している。 ・スキーや剣道など全国レベルの大会に中学生が出場するなど競技力の向上にも繋がっている。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・参加者が横ばい傾向にあるため、住民が参加しやすいスポーツを検討していく必要がある。 ・軽スポーツや健康に対する意識改革を行うことで、健康促進を目的としたスポーツの普及やスポーツの行いやすい環境づくりが必要である。 ・指導者の育成や地域住民の体力向上を行い、スポーツ振興を図る必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・荘川地域の自然や地域にあるものを活かし、スポーツ推進委員と協力しながら住民が楽しく行える軽スポーツの発掘を進めていく。 ・健康促進につながるウォーキングなどの導入を検討する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・荘川地域にある自然等を有効活用し、荘川でしか行えない楽しめるスポーツを企画し提案することや、健康促進にも役立てるスポーツを発掘する。 ・住民に対し、生涯1スポーツの推進を図り荘川地域での指導者の育成や地域住民の健康増進や体力の向上を推進する。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
○ 拡大		
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	300	300	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	233	235	123
	受益者	荘川町民(4月1日現在)	(B)	1,287	1,274

5 予算編成(Action2)

事業内容	・スポーツ人口を増加させることを目的とした大会に対する助成	要求のポイント	・住民みんなが参加しやすいスポーツ大会の開催(8競技)	事業実施の課題	・参加者が年々減ってきており、更なる魅力ある大会を計画し地域住民のコミュニケーションと誰もがスポーツに親しむことができる大会等を検討する必要がある。	スポーツ推進課	地域政策課
							平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	150	150	0	150	150		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ひだ清見お祭りキャンペーン事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	2	観光費	○		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	3,500 千円		
		3231	目	1	観光振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川・清見住民	どうしたいのか(意図)	・荘川地域と連携して、せせらぎ街道・やまびこ街道・さくら街道の利用者増を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・荘川・清見観光客誘致推進協議会を核にキャンペーンの実施・誘客パンフレットの印刷等を行う。
	対象者数	3,781 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・観光マップの製作 ・誘客キャンペーンの実施(4回)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	お祭りマップ(荘川清見周遊マップ)配布枚数	枚	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績(見込)		10,000	10,000	10,000		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
活動指標	誘客キャンペーン実施回数	回	目標値	3	3	3	3
	実績(見込)		3	4	3		
	算出根拠等		達成率(%)	100	133	100	
成果指標	清見町入込客数(道の駅バスカル清見・ウッドフォーラム飛騨・道の駅ななもり清見入込客数)	人	目標値	470,000	480,000	480,000	480,000
	実績(見込)		428,912	429,564	435,000		
	算出根拠等		達成率(%)	91	89	91	
成果指標	入込客数前年比(道の駅バスカル清見・ウッドフォーラム飛騨・道の駅ななもり清見入込客数)	%	目標値	102	112	112	110
	実績(見込)		92	100	101		
	算出根拠等	当該年度入込客数/前年度入込客数	達成率(%)	90	89	90	
成果指標	荘川町観光客入込客数(1月～12月)	人	目標値	460,000	460,000	460,000	460,000
	実績(見込)		413,299	393,835	400,000		
	算出根拠等		達成率(%)	90	86	87	
補足			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・平成21年度より実施した交通量調査などを今後の事業に活かす必要がある。
--------------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・今年度実施する誘客キャンペーン事業内容に、交通量調査分析結果を有効活用する取り組みを実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	実施した交通量調査や分析結果を有効に活用し、北陸地域からの誘客に向けた具体的な取り組みを実施する。
	□拡大	
	□縮小	
	□廃止検討	
○二次評価	維持・改善	特別期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の支援を縮小していく必要がある。
○縮小	縮小	
	□廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	3,473	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	891	257	264
	受益者	(B)	3,896	3,894	3,781

5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川・清見観光客誘致推進協議会負担金	要求の ポイント	①周遊マップの増刷 ②観光パンフレットの増刷 ③観光キャンペーンの実施	事業 実施の 課題	特別期間終了後の誘客PR方法について検討していく必要がある。	観光課	平成27年度以降、地域を限定したキャンペーンについては地域が主体となって実施する方向で検討しており、その方針を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設事業 (荘川の里整備事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	第七次総合計画(後期)、実施計画	市長公約	10 ○市民のための行政改革を断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効利用を行います。
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所基盤産業課		内線	項	2	観光費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	20,000 千円		
			3332	目	2	観光施設費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用客数(4月~3月)	どうしたいのか(意図)	荘川の里は、ふれあい橋が老朽化による木製部分の腐食が進行し、橋の通行に支障がでてきている。また、植樹されている樹木の巨木化により、景観の悪化を招くとともに入館者へ枝が落下する危険性があるため、整備することで入館者の安全を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	ふれあい橋の欄干、床板の修繕 ・支障木の伐採
	対象者数	10,800 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	平成26年度(単年度)事業のため実績無し								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	施設利用客数(4月~3月)	算出根拠等	観光客入込客数調査	人	目標値			4,000	4,500
				実績(見込)	2,843	3,921	4,000		
					達成率(%)			100	
	ふるさと祭り来場者数	算出根拠等	当日来場者数	人	目標値			5,500	5,500
				実績(見込)	5,000	6,000	5,500		
					達成率(%)			100	
	ふるさと夏まつり来場者数	算出根拠等	当日来場者数	人	目標値			775	800
				実績(見込)	568	800	775		
					達成率(%)			100	
					目標値				
					実績(見込)				
				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
補足	ふれあい橋は荘川の里からふるさと祭り会場に通じる唯一の移動路であり、ふるさと祭り当日をはじめ非常に多くの人の往来があり、また園内の木々は、巨木化・古木化により景観の悪化および枝の落下による事故の恐れがある。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	平成26年度(単年度)事業完了
--------------------------	-----------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	平成26年度(単年度)事業完了		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	平成26年度(単年度)事業完了
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	平成26年度(単年度)事業完了

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)			15,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			1,435
	受益者 対象者数	(B)			10,800

5 予算編成(Action2)

事業内容	橋の改修 ・橋の木工部分(床板・支柱・筋交・門柱)の取り替え ・木工部分の塗装 支障木の伐倒および剪定 ・伐倒68本 ・剪定5本	要求の ポイント	事業 実施の 課題	観 光 課 ・施設利用者のニーズに対応した計画的な施設修繕を実施し、利用者の増加と満足度の向上を図る必要がある。 地 域 政 策 課 ・平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---	-------------	-----------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,500	15,500	15,000	15,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	15,500	15,500	15,000	15,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	地域快速環境整備事業費 (沿道修景整備事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画、高山市環境基本計画	市長 公約	4	市民が幸せな家庭生活をおくり、安心して暮らせる地域を築くため、地域の コミュニティー活動や観光整備事業の予算枠を確保します。
	種別			7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業	内線	予算	4	都市計画費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,000 千円			
				3331	7	快速環境整備費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(1月～12月)	どうしたい のか (意図)	国道156号158号沿線及び荘川町内の市道等の環境整備(草刈)を実施し、不法投棄の防止及び沿道の 環境美化により「すみやすさ」を感じられる町づくりを目指す。	概要	事業の実施 手法(手段)	沿道修景整備(草刈)
	対象者数	393,835					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	国道158号線他沿線の環境整備(草刈り)						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	沿道修景整備(草刈)	ha	目標値	12	3	3	3
成果 指標	算出根拠等	整備面積	実績(見込)	11	3	3	
	算出根拠等	観光客数(荘川地域1月～12月)	達成率(%)	92	100	100	
成果 指標	算出根拠等	観光客入込数(1月～12月)	目標値	460,000	460,000	460,000	460,000
	算出根拠等	不法投棄	実績(見込)	413,299	393,835	400,000	
成果 指標	算出根拠等	不法投棄件数	達成率(%)	90	86	87	
	算出根拠等	環境美化意識の向上、外来植物の駆除	目標値	0	0	0	0
補足	算出根拠等	不法投棄件数	実績(見込)	0	0	0	
	算出根拠等	環境美化意識の向上、外来植物の駆除	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 沿道景観の保全に対する要望も多く、実施場所の精査が必要である。 地域住民と連携し、効果的な外来種の駆除を図る必要がある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	不法投棄の防止や外来植物繁殖地の駆除の視点から実施箇所を精査する。
次 年 度 の 実 施 方 針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・地域要望に応じた実施個所の見直しを行い、効果的な実施場所を決める。 ・不法投棄防止のため、定期的なパトロールを実施する。
二 次 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	県が管理する道路の草刈りは、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要望する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,785	1,869	2,000	2,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4	5	4	4
	受益者	観光客入込数(1月～12月)	(B)	413,299	393,835	460,000

5 予算編成(Action2)

事業 内容	国道158号線等沿線の除草	要 求 の ポ イ ン ト	不法投棄防止及び外来植物の除去による環境保全を図る	事 業 実 施 の 課 題	支 所	ボランティア活動により、地域内の除草等の環境整備を実施してきたが、近年少子高齢化により、未整備となる場所が増加している。	都 市 整 備 課 地 域 政 策 課	県が実施する道路沿いの草刈り範囲について調整し、確認しておく必要がある。 施設設置者による適正な管理が行われるよう調整が必要である。
----------	---------------	---------------------------------	---------------------------	---------------------------------	--------	--	--	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	2,000	0	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92199	地域小学校管理費 (黒谷地域生活環境整備事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	10 市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所 地域振興課	内線	項	2	小学校費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
		3311	目	1	学校管理費			D	その他事業	H26計画額		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域住民	どうしたいのか(意図)	荘川プールを解体・撤去し、地域住民が安心して生活できる環境を整え、また、農山村景観の保全を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	荘川プールの解体・撤去
	対象者数	1,223 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	算出根拠等	荘川プールの数	施設	目標値				1
				実績(見込)				
	算出根拠等	解体・撤去対象のプール数		達成率(%)				
			目標値					
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
成果面	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
			目標値					
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
補足	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
			目標値					
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
補足		平成18年6月に利用を中止している。						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	0	14,570
	受益者1件当たり(円)		(A/B)				11,913
	受益者	荘川地域住民(4月1日現在)	(B)				1,223

5 予算編成(Action2)

事業内容	・荘川プールの解体・撤去	要求のポイント		事業実施の課題	支所	教育総務課 地域政策課	・未利用施設を整理する必要がある。
------	--------------	---------	--	---------	----	----------------	-------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	14,570	14,570	15,500	15,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	0	14,570	14,570	15,500	15,500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	地域小学校教育振興事業 (新島小学校交流推進事業)	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	106 合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
	種 別			9	教育費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 地域振興課	内線	3311	項	2	小学校費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円		
				目	2	教育振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学6年生	どうしたい のか (意図)	・荘川小学校と東京都新島小学校との交流を深めることは、相互の伝統・文化・習慣などを学び、広い視野に立ち郷土を理解することができる。また、義民甚兵衛と孝子勘左衛門の遺徳を偲び、数々の体験や感動の中から郷土愛や親子の絆を深める。	概要	事業の実施 手法(手段)	・荘川小学校が東京都新島小学校を訪問し交流を行う。 ・実施期間・平成25年7月 場所・東京都新島小学校 対象・荘川小学校6年生全員19名・引率3名 ・新島研修に向けての事前学習 ・たからもの発表会(学習発表会)実施
	対象者数	19 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・実施期間:平成24年7月 2泊3日 ・場所:東京都新島小学校 ・対象:荘川小学校6年生9名・引率3名 ・たからもの発表会(平成25年2月28日)開催						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	新島交流参加者数	人	目標値	17	12	22	15
		実績(見込)	17	12	22			
	算出根拠等	小学校6年生児童及び引率		達成率(%)	100	100	100	
	成果 指標	新島交流参加率	%	目標値	100	100	100	100
		実績(見込)	100	100	100			
	算出根拠等	小学校6年生児童及び引率		達成率(%)	100	100	100	
	成果 指標	たからもの発表会(学習発表会)参加者数	人	目標値		200	200	200
		実績(見込)		200	200			
	算出根拠等	参加者数		達成率(%)		100	100	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・新島小学校との交流を行うことにより郷土愛や親子愛の再確認							

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・保護者負担が増大しており、継続的な支援を要望されている。(保護者は積立を開始) ・新島村との交流全般における検討が行われているところであるが、平成27年度以降の当事業の継続に向けた取り組みを検討する必要がある。 ・交流の主体であるPTAに対し、荘川町民全体が支援できるシステムの検討が必要。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況		・荘川町民全体が交流を支援するためのシステムを検討する。 ・荘川地域・新島村交流実行委員会が中心となり、新島村交流全般について今後の荘川地域としての取り組みを検討する必要がある。
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二 次 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	継続して実施できるよう支援を検討する。	
	特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	500	420	720
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	29,412	35,000	32,727
	受益者	小学校6年生+引率者	(B)	17	12	22

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・東京都新島小学校との児童交流事業に対する助成	要 求 の ポ イ ン ト	事 業 実 施 の 課 題	支 所	・小学校の新島交流については、荘川町の偉人三島勘左衛門や上木甚兵衛の物語を勉強して行っている。 ・今後も継続していく方向で検討する必要がある。	学 校 教 育 課	特定地域の学校による他地域との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。
	地 域 政 策 課			平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。			

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		720	524	△ 196	520	520	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	720	524	△ 196	520	520		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域観光振興事業 (広域連携誘客推進事業)	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間と行政、観光関係者をはじめ地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図る。
種別				6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所 基盤産業課		内線 3341	2	観光費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,300 千円			
				1	観光振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川地域の観光客入込数(1月～12月)	どうしたいのか(意図)	国道156号の利用客を増やすため、郡上市高鷲町・大野郡白川村・荘川町の3地域が連携し国道沿線の観光資源を利用して、点ではなく線で結ぶ観光の誘客を進める。	概要	事業の実施手法(手段)	・3地域(高鷲・荘川・白川)の観光施設等を紹介した周遊マップの作成。 ・国道156号(さくら街道)をPRし、多くの観光客に周遊してもらうため観光施設を回る「さくら街道スタンプラリー」の実施
	対象者数	393,835 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		①高鷲・荘川・白川連携誘客推進事業「3地域周遊ドライブマップ」の作成 ②荘川・白川連携誘客促進事業「さくら街道スタンプラリー」の実施						
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		スタンプラリー・周遊マップ配布枚数	枚	目標値	75,000	50,000	50,000	24,000
	算出根拠等	配布枚数	実績(見込)	50,000	32,100	24,100		
	達成率(%)	67	64	48				
	活動 指標	スタンプラリー・周遊マップ配布箇所	箇所	目標値	31	36	35	35
		算出根拠等	配布箇所	実績(見込)	31	36	35	
	達成率(%)	100	100	100				
	成果 指標	スタンプラリー応募者	人	目標値	2,000	1,500	1,500	1,600
		算出根拠等	応募者数	実績(見込)	1,099	1,512	1,600	
	達成率(%)	55	101	107				
成果 指標	観光客入込客数(1～12月)	人	目標値	460,000	460,000	460,000	400,000	
	算出根拠等	観光客入込調査	実績(見込)	413,299	393,835	400,000		
達成率(%)	90	86	87					
成果 指標	国道158号交通量(8月14日～15日調査)	台	目標値	4,000	3,000	3,000	3,500	
	算出根拠等	お盆交通量調査	実績(見込)	4,740	2,867	3,550		
達成率(%)	119	96	118					
補 足			目標値					
			実績(見込)					
達成率(%)								
国道156号沿いの郡上市高鷲町・白川村・荘川町の3地域が連携をとり、広域的な誘客が推進できた。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域連携によるスタンプラリーの参加者を増やすための宣伝方法の見直し及び抽選賞品の見直しを行う。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・スタンプラリーの実施を多くの皆さんに知ってもらい参加してもらえよう周知を図る。 抽選賞品は、もう一度地域へ訪れてもらえるような品々にし、関係団体からの商品の提供を依頼し、負担金が減っても続けられるような仕組みづくりを行う。																	
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担 当 課 評 価</td> <td><input checked="" type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">・3地域の魅力を紹介しているパンフレットを作成し、3地域が連携し誘客促進を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td>二 次 評 価</td> <td><input type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">・民間団体主体への移行を検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担 当 課 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・3地域の魅力を紹介しているパンフレットを作成し、3地域が連携し誘客促進を図る。		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小	二 次 評 価	<input type="radio"/> 維持・改善	・民間団体主体への移行を検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 廃止検討	
担 当 課 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・3地域の魅力を紹介しているパンフレットを作成し、3地域が連携し誘客促進を図る。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
二 次 評 価	<input type="radio"/> 維持・改善	・民間団体主体への移行を検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
	<input type="radio"/> 廃止検討																	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 807	721	900	640
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 734	477	600	400
	受益者	スタンプラリー参加者 (B)	1,099	1,512	1,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川町近隣の郡上市高鷲町及び大野郡白川村と連携し、国道156号沿線の主要観光施設を結んだ周遊型の観光振興を図る。	要求のポイント	・3地域周遊ドライブマップの増刷 ・荘川白川さくら街道スタンプラリーの実施に係る経費	事業実施の課題	支所 事業の効果を検証し、広域での誘客促進に向けて取り組みが必要である。	観光課	平成27年度以降、地域を限定したキャンペーンについては地域が主体となって実施する方向で検討しており、その方針を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	900	640	△ 260	600	600	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	900	640	△ 260	600	600		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	地域文化財保存振興事業 (化石を活用した地域振興事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	第七次総合計画(後期)、地域振興計画	市長公約	1 新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。	
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所	地域振興課	内線	3321	項	4	社会教育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,000 千円	D	その他事業
			目	7	文化財費								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・化石フォーラムをととし、高山市の化石を全国発信し地域振興に繋げていく。 ・郷土の自然遺産に誇りを持つ子どもたちを育てながら次世代の担い手を育成していく。	概要	事業の実施手法(手段)	・国立科学博物館や京都大学などの各研究機関との連携を密にし、研究者と協力して化石フォーラム及び、市民を対象にした化石教室を開催する。 ・市民が参加しやすい化石発掘教室を開催する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 化石フォーラムの開催(8/5) 化石発掘教室の開催(10/7,10/21、10/28、11/11) 飛騨高山たから市での出張化石教室の開催(8/19) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	化石フォーラム開催回数	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1			
	算出根拠等	1回/年	達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	化石発掘体験教室開催回数	回	目標値	5	3	5	4
		実績(見込)	6	4	5			
	算出根拠等	4回/年	達成率(%)	120	133	100		
	活動指標	化石フォーラム講師招聘人数	人	目標値	8	8	8	8
		実績(見込)	8	8	8			
	算出根拠等	8人/1回	達成率(%)	100	100	100		
成果指標	化石フォーラム参加人数	人	目標値	100	100	70	70	
	実績(見込)	123	120	80				
算出根拠等	70人/1回	達成率(%)	123	120	114			
成果指標	化石発掘体験教室参加人数(延べ人数)	人	目標値	60	60	75	60	
	実績(見込)	83	69	75				
算出根拠等	15名×4回	達成率(%)	138	115	100			
成果指標	荘川地域のエコツーリズムにおける化石発掘体験の実施回数	回	目標値		5	5	5	
	実績(見込)		3	3				
算出根拠等	5回/年	達成率(%)		60	60			
補足	・飛騨生活文化センターにて開催された「飛騨高山たから市」に出張化石教室の開催し、多くの市民に対し荘川の化石をPRすることができた。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 荘川地域の化石を活用していくための担い手不足が続いている。 荘川地域の化石は日本でも珍しく貴重であることを荘川町内及び町外に周知することが必要である。 常時化石に関する質問等に対応できないため、化石研究室等へ学芸員の配置及び拠点施設の整備についても検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度も化石フォーラムや化石発掘教室を開催し、高山市内に住む子どもたちに化石の素晴らしさ、面白さを学んでもらえるようにする。 荘川町内で実施されるエコツーリズムの体験メニューとして、化石を題材とした体験活動を進める。 		
次年度の 実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度以降も継続して化石フォーラムや化石発掘教室を開催し、高山市内に住む子どもたちに化石の素晴らしさ、面白さを学び、次世代の担い手を育成する。 荘川町民を対象とした化石説明会などを実施し、化石に関する地域の理解を深める。 学芸員の常設及び化石研究の拠点整備を実施できないかを検討し、常時荘川地域において化石に関する質問や発掘体験ができるよう関係機関と調整を行う。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	987	798	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,791	4,222	6,897	7,692
	受益者	化石フォーラム等参加者数	(B)	206	189	145

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 国立科学博物館や京都大学などの各研究機関との連携を密にし、研究者と協力して化石フォーラム及び市民、特に荘川町民を対象にした化石教室を開催 市民、特に荘川町民が参加しやすい化石発掘教室を開催 	要求のポイント	化石フォーラム及び化石発掘教室を開催するための経費を計上	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 荘川の化石は地域の宝であるため、担い手を育成する必要がある。 平成27年度以降の地域振興について検討する必要がある。 	文化財課	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財保護の啓発や子どもへの教育の視点から重要な事業である。平成27年度以降の事業実施方法が課題である。 	地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。
------	---	---------	------------------------------	---------	---	------	---	-------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
	種別			2	総務費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	荘川支所	地域振興課	内線	項	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,900	千円	
				目	9	企画費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたいのか(意図)	・住民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援することにより、地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進し、特色ある地域づくりによる地域活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対し、事業費(材料費等)の支援を行う。
	対象者数	1,223					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	補助件数	7件						
成果 指 標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指 標	申請件数	件	目標値	10	10	10	11
				実績(見込)	12	7	10	
	算出根拠等	町内会等からの申請件数 年10件		達成率(%)	120	70	100	
	活動 指 標	補助件数	件	目標値	10	10	10	11
				実績(見込)	12	7	10	
	算出根拠等	申請件数×100%		達成率(%)	120	70	100	
	成果 指 標	1件あたりの平均補助額	円	目標値	340,000	340,000	300,000	250,000
				実績(見込)	348,583	186,773	350,000	
	算出根拠等	総補助額/補助件数		達成率(%)	103	55	117	
	成果 指 標	ハード事業実施割合	%	目標値	75	75	75	75
				実績(見込)	75	57	80	
算出根拠等	ハード事業数/補助件数		達成率(%)	100	76	107		
補 足	この事業には支所地域のPRと特産品販売の拠点として運営されている、飛騨高山アンテナショップへの運営費補助も含まれる。		目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・どのような取り組みが補助対象となるか分からないという意見があり、具体例を例示して説明する必要がある。 ・労力は地域住民が提供することとなっているが、高齢化等で労務を提供できない地域もあることから、他の支援方法を含めて検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・町内会等に対し具体的な事業例を示して補助の活用を周知した。 ・地域振興特別予算が26年度を以って終了するため、継続して荘川地域の活性化や魅力ある地域づくりを行うための支援の方法を検討する必要がある。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、当事業による支援が平成26年度までであることを周知し、効率的な予算執行を図れるようにする。 ・平成27年度以降の対応について住民に対し説明の必要があり、全市的な方針を決定する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,183	1,307	3,500	2,900
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,250	1,026	2,862	2,371
	受益者	荘川町民(H25.4.1現在)	(B)	1,287	1,274	1,223

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	地 域 政 策 課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である
------	---------------------------------------	-------------------------	-----------------------------	--------	-----------------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,500	2,900	△ 600	2,900	2,900	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	3,500	2,900	△ 600	2,900		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	荘川支所	地域振興課	内線	項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	4,630	千円		
			3321	目	9	企画費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川町民	どうしたいのか(意図)	・市道、農道、水路、市所有施設等の公共施設の軽微な修繕など地域からの要望に対し即座に対応することにより、安全・安心・快適なまちづくりと特色ある地域づくりによる地域活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・市道、農道、水路、市所有施設等の公共施設の軽微な修繕要望に対し、修繕を実施する。
	対象者数	1,223	人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	修繕実施件数14件							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	各町内会からの当初要望提出件数	件	目標値	80	80	80	80
		実績(見込)		83	89	96		
	算出根拠等	約5件×16町内会		達成率(%)	104	111	120	
	活動 指標	当初要望に対する現場確認件数	件	目標値	80	80	80	80
		実績(見込)		83	89	96		
	算出根拠等	当初要望提出件数×100%		達成率(%)	104	111	120	
	成果 指標	要望に対しこの事業で対応した件数	件	目標値	10	10	10	5
		実績(見込)		2	3	10		
	算出根拠等	要望提出件数×6.25%		達成率(%)	20	30	100	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	高山市で対応できる要望に対しては、できる限り対応するようにしており、軽微なものに関しては即座に対応している。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域から公共施設の修繕に関する要望が多いため、平成27年度以降も要望が出てくることが多く、即座に対応することが困難になる可能性がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・この事業のみならず、地域振興特別予算が26年度を以って終了するため、継続して荘川地域の活性化や魅力ある地域づくりを行うためにどのように対応するか検討する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・平成27年度以降の対応方法を検討しつつ、当事業による支援が平成26年度までであることを周知し、効率的な予算執行を図る。 ・平成27年度以降の対応について住民に対し説明する必要がある、全体的な方針を決定する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,751	8,530	9,800	4,630
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,138	6,695	8,013	3,786
	受益者	荘川町民(H25.4.1現在)	(B)	1,287	1,274	1,223

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	地域 政策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	-------------	-----------------	--------	---------------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,800	4,630	△ 5,170	2,500	2,500	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,800	4,630	△ 5,170	2,500	2,500		